

平成26年6月1日発行

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科名誉専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

## 五月にまだインフルエンザが!! やはり変ですねぇ

五月五日のこどもの日は岩谷医院の休日当番日でした。もうこの時期になるとインフルエンザの患者さんはほとんど出ないため、時間を持て余す暇当番医となるのが通常でした。一昨年は五月十九日で患者数は十八名、昨年は五月二十日で十四名でした。今年も同じだろうとのんびりした気持ちで医院に向かいました。ところが、着いてみると医院前の駐車場はすでに車でいっぱいでした。発熱、のどの痛み、咳などの症状の患者さんがほとんどでした。休日当番医に来院される方はほとんどが新患です。受付事務にも時間がかかります。そして悪いことに今日は二人いる事務の一人は休みを取っています。今頃彼女は常夏の島で波乗りかー。見通しの甘さを後悔しても後の祭りです。残された一人は必死になってレセコンに向かっています。この日の来院数は結局六十三名。インフルエンザの検査数は二十三回で、八名がインフルエンザ陽性でした。すべてB型でした。この日は昼休み時間も短縮して診療に当たり何とか終了しましたが皆疲労困憊の休日当番日でした。そういえば開業して迎えた一月一日の当番医も大変でした。あれから十二年が過ぎ、三年目に入った岩谷医院。これからはがんばります。

## 院長より一言

### アメリカ大陸横断2800キロの旅

遠い昔の話です。私は昭和51年から約2年間、アメリカに留学いたしました。最初の赴任地はミシガン州のデトロイトでした。車の町、デトロイト。ここで約1年間を過ごし、その後ユタ州のソルトレイクシティに移動することになりました。なにしろ貧乏留学生ですから出来るだけ費用のかからない方法での引っ越しを考えました。自分の車で家財道具を積んだトレーラー (U-HAUL) を引いて移動することにいたしました。使用した道路はルート80。アメリカ大陸の約2/3を5日間かけ妻と約1歳の息子との3人で横断した約2800kmの車の旅でした。道中たくさんの車が州毎にいろいろなナンバープレートをつけて走っています。カラーも異なれば、イラストが描かれたものもあります。その州の特徴を表しており、楽しいです。私と同様に他の州から来た友人たちと手持ちのプレートを交換しながら集めてみたら何枚か集まりました。遠き古き良き時代のアメリカに思いをはせ、院長コレクションとして待合室の壁に飾ってみました。ご覧いただければ幸いです。

患者さんからの寄稿

# 汚染土壌の置き場所 提供に感謝

松川町 渡邊 武房さん

わが町・わが家もようやく除染が終わった。高圧洗浄機による屋根・壁の水洗いに一日、庭先などの表土剥ぎ取り・箱詰めなどに四日間を要した。両者ともに関西の業者が請け負ったが、その勤務態度はよく、作業ははていねいであった。

汚染土壌は、軒先の狭い庭に一時置かれたが、それが今朝、わが家から町内の一角に運び出された。狭くて保管条件が悪い家が対象となった。

この措置は、土地提供者の英断と周辺住人の同意があつてはじめて実現したに違いない。また、町内会役員の人知れぬ努力があつたのである。この三者に謝意を表したい。

「必要は認めるが、わが家の裏庭につくられては困る」という心情を、「NIMBY(ニンバイ=not in my backyard) 症候群」と言うらしい。それは「総論賛成、各論反対」と言つてもよい。私が同意を求められたならば、はたして正しい判断ができたであろうか。

不条理な放射能汚染の除染作業を通じて、町内の人たちのおもいやりのある心を新たに知ることとなった。(平成二十五年十二月)

\*福島市の除染は今も続いています。(院長)

特別寄稿

―福島家庭裁判所調停員協会会報より―

# トルコ紀行

〜未知なるイスラム世界との出会い〜

三浦賢一さん

私がイスタンブール空港に降り立った日、トルコのエルドアン首相の顔を車体に描いたバスがパトカーに先導されて動き出し、他の車は待機させられた。地元ガイドのエラさんは興奮した面持ちで、「トルコ国民が永年熱望していたEU加盟交渉が、首相の努力で合意を得て首脳会議から戻ったところですよ」と話してくれた。地元の新聞にも列強の首脳たちが写真入りで一面に大きく掲載されていた。私たちは、この国にとって歴史的な日(二〇〇四・十二・二十六)に第一歩を印したのである。

トルコの加盟問題は六十年代から欧州内部で議論されてきた。旧ソ連に対抗して西側陣営を強化する狙いがあつたが、冷戦終結で欧州側の熱意は冷めた。トルコは八十七年に加盟を申請、EUは九十九年に加盟候補国と認められたものの、交渉開始



ボスポラス海峡(対岸アジア)

# 川柳箱より(短歌、俳句、川柳、詩)

蒲倉琴子さん(福島市松川町)

俳句

袴(かみしも)も下帯も見て春祭り  
少しづつ月へと帰る雪うさぎ

春雷の音閉ざす玻璃(はり)戸かな

〔古事記〕1300年記念隠岐後鳥羽院俳句大会大賞句

鳥渡る阿修羅の浪をまのあたり

\*いつも感心して詠んでます。俳句大会総なめですね

(院長)

川柳

翔屑(しょうせつ)さん(福島市天神町)

吾妻山春を告げますブルの音

靖国を拜んだ人が悪者に

三寒四暖仮設の人達待ちこがれ

四季おりおり心和むよ花見山

寒波きて忘れた頃にインフルエンザ

丸三年故里山川変わらぬ

被災地は原発廃炉100%

\*翔屑さんは四季の移ろいを想い、時世に敏感、そして人にやさしいですね(院長)

太田まちこさん(福島市太田町)

川柳

餅搗(もちつき)に集まりてみな顔見知り

相取りも仲々町の餅搗会

一椀の搗立て餅に刻(とき)かけて

ビンゴゲーム縦横リーチに出ぬ数字

餅食べてビンゴゲームでごちそうさん

\*最近餅搗もあまり見ませんね。搗きたての餅の

味。たまりませんね(院長)

山田繁子さん(福島市須川町)

川柳

一月や旬の先取り勝浦で

好奇心生きる糧よと聞き思う

好奇心持つは命のバロメーター

好奇心持つは命のバロメーター

決定は先送りしてきた。政教分離による近代化と欧米接近政策を進めるトルコにとってEU加盟は大きな国家目標であった。欧州側には、宗教や生活水準が違い、人口七千万人のイスラム大国、将来はドイツを上回る人口大国になることへの警戒感があつたようである。フランスにおいては加盟反対の市民によるストライキが起るなど世論の七割が拒否し、シラク大統領は「各国はトルコ加盟への拒否権を持つ」とし、世論に配慮して最後は国民投票にかける考えを改めて示した。中東やアラブ世界への民主化への影響を期待する米国は加盟を強く支持している。イスラム圏の初めての加盟であり、厳しい条件が附帯されることは事実であり、歴史の中で繰り返されてきたキリスト教圏とイスラム教圏との相克を今日にみる思いがした。イラク戦争やイスラエル・パレスチナ問題とも無縁ではないのかもしれない。

トルコの歴史は古く、遠く紀元前二千年のヒッタイト王国に始まりオスマントルコに至るまで、次々と民族の興亡が繰返され、ヨーロッパとアジアの接点、文明の十字路として、



トロイの木馬 (復元のもの)



カッパドキアの奇岩

この国は遙かな古の世界へと誘ってくれる。永年にわたる栄枯盛衰の歴史を見守ってきたイスタンブールは勿論のこと、エーゲ海地方に残るギリシャ・ローマ遺跡の数々、そして林立する奇岩群があるカッパドキア地方や、一面の白い石灰棚パムツカレなど、美しい自然の造形も多く、かねてから訪れてみたいと思っていた。

ヨーロッパを巡り、忘れたい町々は数多くあるが、イスタンブールはその独特な雰囲気によって心に深く刻まれた町である。その日も、イスタンブールの海の玄関口、ボスポラス海峡に沿って、朝霧の中にくつつものモスクのミナレットが浮かび上がった。その時、一日の最初の祈りを呼びかけるアザーンの競演が一番に耳に飛び込んで来た。そして一日に何回となくこの祈りの響きを聞くことになった。それは異国情緒溢れるもので強烈なカルチャーショックを受けた。



## 患者さんの コーナー



「盆栽コレクション」福島市矢剣町 Mさん

\*Mさんの盆栽を医院玄関、風除室に展示させていただいています。種類が豊富で名前を覚えるのは大変ですが患者さんにも好評で医院としても大変ありがたいと思っています(院長)

### 短歌

けん玉を上げて上げての繰り返し

如月や春まだ遠き福島の  
汗出るほどに漸く上がる  
残雪残りて弥生入りかな

\*好奇心は大事ですよね。好奇心の旺盛な方は気持ちも若いですね(院長)

俳句  
佐藤晴一さん(福島市小倉寺)

桜葉や忘れ去られし莫座(ごぎ)一枚

阿武隈の流れる先の春霞

春雨や種芋未だ覚めやらす

呑気でも春待ち顔はピンクなり

春雨やコーヒードリップゆっくりと

春寒を熱き心で迎え入れ

ステッキにわが身を委ね春の風

春彼岸冥途は遠いぞ俳句道

春場所や大技小技の日馬かな

\*佐藤さんはなかなかのロマンチストですね(院長)

\*川柳箱は川柳だけでなく何でも受け付けています。たくさんの方の作品、ご意見をお待ちしています。(院長)



# 医院からのお知らせ



## 【平成26年の市民検診について】

昨年同様、6月より各種がん検診とメタボリック症候群に的を絞った特定健診（特定健診は一部4月より）が行われます。

【平成26年6月2日（月）～10月31日（金）】

特定健診・後期高齢者健診内容については前年度とほぼ変わらないということで、定期的に当院に通院し、薬を服用されている患者さんに対しては、少なくとも6ヶ月に1回は一通りの血液検査を行い検査結果を説明し、指導を行っておりますので、特定健診用の血液検査は必要ないと考えております。

各種がん検診については、当院では大腸がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診について検診可能です。こちらはぜひ受けていただきたいので、該当の方は受診券をご自宅へ届き次第、診察医師または受付にお申し出下さい。

なお、検診については完全予約となっております。受診券・保険証の確認と前もって問診票の記入が必要となりますので、お早めに診察医師または受付にお申し出下さい。

なにかご不明な点がありましたら、お気軽に受付に御相談下さい。

【※10月の検診末月になると、検診受付が出来ない場合もありますので、お早めに受付に相談、予約をお取りいただくようお願い致します。】

# 患者さんのコーナー



「絵手紙コレクション」福島市 佐藤晴一さん

\*俳句にも登場の佐藤さん。時々医院に絵手紙を置いて行かれます。思いつくままの想像の絵ということです。それにしてもなかなか多才な方です（院長）

# 我が家のペット ⑫



南沢又、佐川家の愛猫「ちゃたろう君」は3歳です。旦那様が大好きだそうです。かわいいですね。



# 医院だより

院長より一言でも紹介いたしました。アメリカ大陸横断の時の写真です。愛車はアメリカのフルサイズの大衆車「インパラ」です。

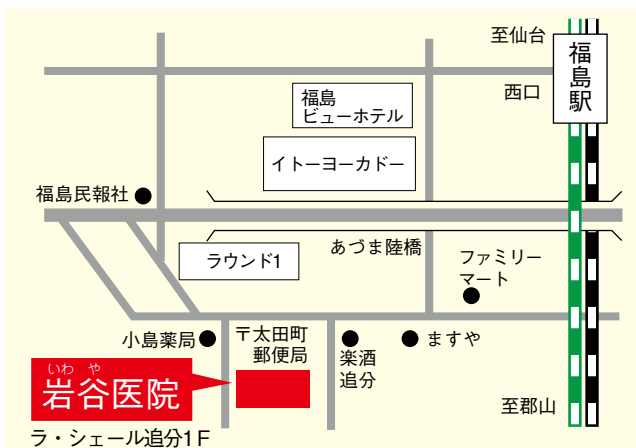


「院長コレクション」

アメリカで使用された車のナンバープレートです。特にミシガン州のものは建国200年記念でカラフルです。

# あとがき

今回の院長よりの一言は趣を変え、医療以外の事を書いてみました。これからも題材にとらわれず、思いついたことを書いてみようと思っています。特別寄稿の三浦先生は私の高校時代の恩師で国語の先生でした。「つれづれなるままに――」教室に響いた特徴あるハイトーンでの名調子は今でも耳に残っています。次回の後半もお楽しみに。



【福島駅西口より 徒歩7分】

〒960-8068 福島市太田町17-27ラ・シェール追分1F  
でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★診療時間（予約の方が優先されます）

平日（木曜日を除く）は 午前9時～12時 午後2時～5時30分  
土曜日は 午前9時～午後2時（昼休みなしで診療いたします）  
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★診療項目

内科疾患・循環器疾患・動脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など